



相模原市立 公文書館だより

平成 29 年 10 月

第 6 号 全国大会記念号

第 43 回全史料協 全国(神奈川相模原)大会 を相模原市で開催

大会テーマ

公文書館法 30 年 今、問われる公文書管理

期 日 平成 29 年 11 月 9 日(木)・10 日(金)

会 場 杜のホールはしもと

(JR 横浜線・相模線・京王相模原線橋本駅下車すぐ
相模原市緑区橋本 3-2-8-1 ミウイ橋本 7・8 階)

今年の全国大会の大会テーマは、「公文書館法 30 年 今、問われる公文書管理」とし、2 日間にわたり開催されます。

なお、政令指定都市が会場市となるのは、43 回の全国大会史上初めてのこととなります。

全国大会には、どなたでも参加できますので、是非会場にお越しください(大会参加費及び資料代がそれぞれ 1,000 円必要)。

全史料協(全国歴史資料保存利用機関連絡協議会)とは、昭和 51 年に設置され、文書記録を中心とする記録資料を保存し、利用に供している機関会員と、この会の目的に賛同して入会した個人会員で構成されている団体のことです。機関会員には、文書館、公文書館、図書館、博物館、歴史資料館、自治体史編さん室及び大学資料室等があり、平成 29 年 7 月現在、139 の機関が加盟しています。

今回の大会では、大会テーマに合わせ、本市からも、「公文書館法と公文書管理法が地方公共団体に求めるものとは」と題して、相模原市立公文書館長が報告を行います。

また、本市における公文書管理や歴史的公文書の取り扱いについての調査研究などをまとめた、「相模原市立公文書館紀要創刊号」を配布し、相模原市における後世に残すべき重要な公文書の取扱状況などを紹介することとしています。

以下は主な大会内容です。たくさんの方のご参加をお待ちしています。

11月9日(木)

研修会 (A A班 9:30~11:30、B班 9:10~12:15) (会員限定)

A A班「相模原市立公文書館の見学」

B班「相模原市立公文書館、市立博物館の見学」

相模原市は、平成 26 年に公文書管理条例を施行し、旧城山町議場を活用して市立公文書館を設置しました。平成 28 年度末時点で、歴史的公文書約 21,000 点・行政資料約 3,500 点などを所蔵しています。

一方、市立博物館はプラネタリウムを併設する総合博物館として平成 7 年に開館しました。現在『相模原市史』続編・『津久井町史』の編さん事業も所管しています。

本研修は、2 班に分かれてバスで移動し、施設の見学を実施します。



相模原市立公文書館

研修会 (B・C 13:00~14:00)

B 「アーカイブズ入門 : 市町村アーカイブズの役割」

高木 秀彰氏(寒川文書館長)

C 「市民協働によるデータベース構築 尼崎市の事例から」

西村 豪氏(尼崎市立地域研究史料館 嘱託員)

研修会 (D・E 14:10~15:10)

D 「豊田市の公文書管理」

八木 寛元氏(豊田市総務部庶務課 担当長)

E 「用田村伊東宗兵衛家文書の整理と活用」

富田 三紗子氏(大磯町郷土資料館 学芸員)

11月10日(金)

調査・研究委員会報告 (9:30~10:10)

「公文書管理及び保存の実態調査について - 災害時作成文書を中心に - 」

高村 恵美氏(調査・研究委員会委員 常陸大宮市文書館主任)

林 貴史氏(調査・研究委員会委員 常総市総務部総務課非常勤特別職)

大会テーマ研究会 第1部 (10:20～12:00)

「公文書館法と公文書管理法が地方公共団体に求めるものとは」

飯田 生馬氏(相模原市立公文書館長)

公文書館法が昭和 62 年 12 月に制定されてから今年 30 年を迎えます。この間いくつもの文書館や史料館が開設されてきました。地方公共団体においては、歴史資料としての重要な公文書の保存及び利用が進んできています。これに対し公文書管理法は平成 23 年 4 月に施行されましたが、どれだけの団体が法の趣旨にのっとり文書の適正な管理に関して必要な施策を策定し実施してきたのか、なかなか進まない条例化とその課題となる点について相模原市の現状を紹介しながらあらためて考え直してみることにします。

「鳥取県における市町村等と連携した歴史公文書等の保存と活用の取組」

田中 健一氏(鳥取県立公文書館長)

鳥取県では、歴史的に重要な公文書等の保存及び利活用に関する県、市町村、県民等の責務・役割と相互の連携・協力を定めた全国初の条例となる「鳥取県における歴史資料として重要な公文書等の保存等に関する条例」を制定しました。(平成 29 年 4 月 1 日施行)

今回の報告では、県民の貴重な知的財産である歴史公文書等の保存と活用についての鳥取県のこれまでの取組や課題と、新条例の理念を実現するために、県と市町村、県民等が連携・協力して将来の世代へ歴史公文書等を引き継いでいくために進めている新たな取組について、ご紹介します。

大会テーマ研究会 第2部 (13:20～16:20)

「公文書館法 30 年座談会」(13:20～15:00)

コメンテーター 水野 保氏

新井 浩文氏(埼玉県立文書館 学芸主幹)

蓮沼 素子氏(大仙市アーカイブズ 主査)

早川 和宏氏(東洋大学法学部教授・弁護士)

聞き手 定兼 学氏(岡山県立記録資料館長・全史料協会)

松崎 裕子氏(全史料協個人会員)

お申込み・お問合せ先

申込み方法

・下記の「全史料協ウェブサイト」掲載のオンライン申込フォーム (<https://goo.gl/eMgrwT>) を利用してお申込みください。

・オンライン申込みが難しい場合は、

「申込書」(<http://jsai.jp/taikai/sagamihara/sagamihara-moushikomi.pdf>)にご記入のうえ、大会・研修委員会事務局までメール・FAX 又は郵送にてお申込みください。

▶ 全史料協ウェブサイト：<http://jsai.jp/taikai/sagamihara/index.sagamihara.html>

▶ メール / FAX / 郵送送付先：

〒660-0881 兵庫県尼崎市昭和通 2-7-16 尼崎市立地域研究史料館

全国歴史資料保存利用機関連絡協議会 大会・研修委員会事務局

問合せ先 電話：06-6482-5246 FAX：06-6482-5244

E-mail：jsai@archives.city.amagasaki.hyogo.jp

申込み締切 平成 29 年 10 月 13 日(金) 必着

大会日程

11月9日(木)			11月10日(金)		
[研修会 A]視察(各班定員 45名)		9:10	受付(7階ホワイエ)		9:00
A班:相模原市立公文書館 橋本駅集合 9:30 橋本駅解散 11:30(予定)			[調査・研究委員会報告](ホール) 「公文書管理及び保存の実態調査について -災害時作成文書を中心に-」		9:30
B班:相模原市立公文書館、市立博物館 淵野辺駅(横浜線)集合 9:10 橋本駅解散 12:15(予定)			休憩		10:10 10:20
受付(7階ホワイエ)		11:00	[大会テーマ研究会第1部] 「地方自治体における公文書管理」 報告 飯田生馬氏(相模原市) 報告 田中健一氏(鳥取県)		
移動・昼食・休憩 展示・ポスターセッション (7・8階ホワイエ)		12:15	昼食・休憩・展示・ポスターセッション (7・8階ホワイエ)		12:00
[研修会 B] 高木秀彰氏 (寒川町) (7階ホール)	[研修会 C] 西村豪氏 (尼崎市) (8階多目的室)	13:00	[大会テーマ研究会第2部] 「公文書館法30年座談会」 コメンテーター 水野保氏・新井浩文氏・蓮沼素子氏・ 早川和宏氏 聞き手 定兼学氏・松崎裕子氏		13:20
休憩		14:00	休憩		15:00
[研修会 D] 八木寛元氏 (豊田市) (7階ホール)	[研修会 E] 富田三紗子氏 (大磯町) (8階多目的室)	14:10	[総合討論]		15:15
休憩		15:10			
総会 (ホール)		15:30	閉会行事		16:20
移動		17:20			
交流会 (ソレイユさがみ)		17:30			16:30

第9回企画展報告

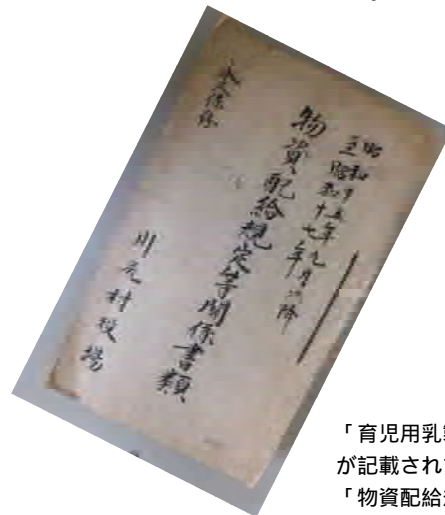
「公文書から見る戦中から戦後への変化(暮らし・制度)」

平成29年5月18日(木)から7月30(日)まで、「公文書から見る戦中から戦後への変化(暮らし・制度)」の展示を行い、期間中228人の来館者がありました。

昭和20年8月15日を境に戦中から戦後となり、暮らしや制度が変わって行きました。その時期には、今では考えられない学童疎開や食糧危機がありました。一方、今では普通のことである女性の選挙権、学校制度(6・3制)などが生まれました。これらに関連する本市で保存している公文書や、国、県の公文書の写しなどを展示しました。



終戦の詔書(写し)(国立公文書館より)



「育児用乳製品配給統制二関スル件」
が記載されている
「物資配給規定等関係書類」(川尻村)

主な展示文書

- | | | | |
|---|--------------------|-------|----------------------------|
| 1 | 終戦の詔書(写し) | 昭和20年 | 国立公文書館 |
| 2 | 学童疎開ノ促進二関スル件(写し) | 昭和19年 | 国立公文書館 |
| 3 | 学童集団疎開宿舎二関スル件 | 昭和20年 | 歴史的公文書
「学事書類」青野原村 |
| 4 | 教育の食糧危機非常措置に関する件 | 昭和21年 | 歴史的公文書
「收受文書綴」青野原村 |
| 5 | 育児用乳製品配給統制二関スル件 | 昭和16年 | 歴史的公文書
「物資配給規定等関係書類」川尻村 |
| 6 | 米穀需給調整計画二関スル件 | 昭和16年 | 歴史的公文書
「米穀配給」青根村 |
| 7 | 隣組回覧 今度の総選挙について | 昭和21年 | 歴史的公文書
「選挙書類」串川村 |
| 8 | 新憲法普及講演と映画の夕開催について | 昭和22年 | 歴史的公文書
「庶務書類」青野原村 |

第5回講演会報告

「村の明治維新～松代藩士関口守衛と津久井県牧野村の人々」について

平成29年3月4日(土)午後2時から午後4時まで、郷土史研究家 村田公男氏による講演会が行われ、63名の参加者がありました。

講師からは、資料に沿って、村に伝わる資料などから“御一新”を標榜した新政府による“明治維新”について、時代背景の説明等を交えて解説がなされました。

参加者からは、「牧野村の神原家は今川義元の第一の家来で今川義元がやぶれ、牧野に住んだということで相当力がある。なぜ、甲斐の国の諏訪番所の関口守衛が誰の権力で津久井に覇権を及ぼしたのか。」「神原名主さんは時の将軍にお目見えされるような身分だったと聞いているので、力関係が疑問である。」などの熱心な質問が寄せられました。



歴史的公文書 インターネット検索の紹介

相模原市が保有する歴史的公文書の情報をインターネットで検索することができます。検索方法は、個別名称、文書作成年度、キーワードなどによる検索ができます。

< 検索対象 >

明治6年度(1873年度)から平成19年度(2007年度)まで整理作業が終了したデータを随時更新していきます。

最新の情報は、相模原市立公文書館にある目録で確認してください。

< 検索システムアドレス >

<http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shikumii/031235.html>



有償刊行物の紹介

「相模原市史 近代資料編」を刊行

相模原市史続編（全10巻）の9巻目に当たり、旧相模原市域に関する、既刊市史では扱われていなかった大正2年から昭和20年までの文書類を中心に、明治期を加えた657点の資料を掲載した『相模原市史近代資料編』が刊行されました。特に、相模原市のまちづくりの基盤となった軍都計画の実態を資料面から明らかにしています。



巻末に、麻溝村役場資料の「時局関係綴」に綴られている、昭和20年に相模原町役場から出された通知・通達・回覧等を全て掲載しています。「時局転換下」の生活が推測できる資料群になっています。

○本書は、市史編集委員会近現代部会（部会長 金原左門・中央大学名誉教授）が執筆、内容の検討を重ねて編集したものです。

頒布価格は3,240円で、市立公文書館のほか、市役所行政資料コーナー（本庁・緑区役所・南区役所・各総合事務所（城山総合事務所を除く））、市立博物館及び相模原書店協同組合加盟店（11店舗）において販売しています。

◇◇公文書館の今後の事業予定◇◇

第10回企画展

「相模原における鉄道の開通と発展」

（平成29年10月6日～12月28日）

第6回講演会

平成30年春頃を予定。

第11回企画展 平成30年春頃を予定

詳しくは「広報さがみはら」などでお知らせします。

～編集後記～

公文書館も開館して3年。世間では公文書の管理に対する厳しい目が注がれています。そんな中、第43回全史料協の全国大会（神奈川相模原大会）を本市で開催することとなり、その準備で頑張ってこ舞いの状況です。今回は全国大会記念号として、その概要をお知らせするとともに、当公文書館の存在を知っていただく良い機会ととらえています。(K)

公文書館だより 第6号 全国大会記念号

編集発行 相模原市立公文書館 1

発行日 平成29年10月1日

〒252-5192 相模原市緑区久保沢1-3-1

城山総合事務所第2別館3階

電話 042-783-8053

